

令和7年度 第1回屋久島町男女共同参画推進懇話会議事録

【開催日時】令和7年9月11日(木曜日) 午前10時00分～11時50分

【開催場所】屋久島町役場本庁舎 2階会議室

【委員】出席委員9人（委員数9人）※代理1名

【会次第】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 町長挨拶
- 4 委員紹介
- 5 会長・副会長選出
- 6 議事
 - (1) 計画策定の趣旨
 - (2) 中学生・高校生アンケート調査結果について
 - (3) 今後のスケジュール
 - (4) その他
- 7 閉会

【公開用】

【審議の経過】

1 開会	
2 委嘱状交付	
3 町長挨拶	
4 委員紹介	
5 会長・副会長選出	<p>会長・・・尾田 賢志 氏 副会長・・・山崎 奈美子 氏</p>
6 議事	<p>(1)計画策定の趣旨</p> <p>事務局から資料に基づき説明。 質疑等は以下のとおり。</p>
委員	<p>10年ほど男女共同参画推進員として懇話会に参加させていただいているが、これまでこのような計画策定についての会議に出たことはなかった。</p> <p>改めて統計データを見せていただくと、女性労働率が低いと感じた。それからジェンダーなど男女共同参画に関する事項の知名度や周知度が低いと思う。</p> <p>今日、集まった推進懇話会の皆様の名前を見ると、幅広い分野の方がいらしており、これから先、男女共同参画を町内の色々な分野で広げていけるのではないかと思う。これまで会があるたびにどういうことをしたらしいのか、どこにお願いしたらしいのかということで相談したことわざもあった。今日はしっかりととした内容と説明があり心強い。男女共同参画とは?という人もまだまだ多い。このような会を経て、共に学んでいきながら、皆様に集まって協議してもらうことで、これから先の屋久島町が開かれていくんじゃないかなと楽しみにしている。重ねてになるが、皆様に力を貸していただけるなら、何か変わっていくのではないかと期待している。</p>
委員	<p>第1次計画の頃も推進員をされておられたのか。 策定に関する会議はなかったのか。</p>
委員	<p>出席していない。そのような催しはあったかもしれないが私は存じ上げない。</p> <p>当時は県からの指示で上屋久町と屋久町から充て職として推進委員をしていたが、県の研修などで男女共同参画について学ぶものが多くなった。今回の計画策定についても、この策定の情報・状況を誰もが知りうる状況になってほしいなと感じる。</p> <p>それほど、今回の計画策定は大きな意義を持つと思っている。改めて屋久島町の出発を感じられ嬉しいという気持ちを申し上げたい。</p>
委員	<p>資料1のP11に第1次計画とあり、その時はどのような形で計画を策定したのかと感じて質問させていただいた。組織の中でこのように意見を出して町の計画を作り上げたという形ではないようだが、その時はどうだったのか知りたい。</p>
事務局	<p>10年前の計画では、懇話会というものは存在していたが機が熟しておらず、当時、男女共同参画やジェンダーについての認識がないということもあり、今回のよくな会の密度も設定してなかった。どちらかというと行政指導に従い、国や県計画</p>

【公開用】

	<p>を基に計画の大元を策定していた。今回は、事業者に委託した理由として、知見や関係団体の意見などの認識を深めていきたいとの思いからこのような対応をした。</p> <p>10 年前と比べると社会的に求められる内容が深まっているので、十分な時間と人数をかけて策定を行いたい。</p>
委員	<p>平成 9~13 年まで社会教育課にいた。当時男女共同参画ということがなかなか進まず、朝女性がお茶を汲むのも普通だった。その内で平成 11 年に男女共同参画社会基本法が施行された。その後、二町の合併があったが男女共同参画については具体的な進展はなかった。時がたつにつれて女性の登用が進み、(平成 11 年に男女共同参画社会基本法が施行されてから) 15~16 年して、屋久島町男女共同参画基本計画ができた。遅きに失した感があった。</p> <p>今は行政の課長職に女性が就いたり、女性議員が出てくるなど、女性の活躍が進んでいる。自信をもってこの計画を進めてほしいと思う。</p>
委員	<p>このメンバーで腰を据えて策定に取り組んでいかないといけない。町民の意識の改革までの計画を作っていくかなくてはいけない。</p>
委員	<p>次の計画として 10 月、11 月の第 2 回、第 3 回と会を開いていく。その内で計画について協議していくので、ご意見を宜しくお願いしたい。</p>

(2) 中学生・高校生アンケート調査結果について

	<p>事務局から資料に基づき説明。</p> <p>質疑等は以下のとおり。</p>
委員	<p>素晴らしいアンケートだ。中学生・高校生の考え方方がリアルに伝わってくる。</p> <p>質問として、1 ページの回答率について、中学生が 87.1%、高校生が 48.6% となっているが、高校生が 50% にも満たなかったのは何か要因があるのか。</p>
事務局	<p>中学校の方はタブレットなどを活用し各学校に協力していただいた。高校生は各学校で生徒に対し調査の依頼はしたが、回答は生徒各自の判断になり、学校単位で取り組めなかつたところがあるかもしれない。そこの違いという認識だ。</p>
委員	<p>了解した。それと説明の中にもあったが、屋久島町長期振興計画と連動させるとということは必要だが、青少年問題協議会の連携体制なども参考にしながら関係機関同士が横断的なつながりも持てたらと思う。</p>
委員	<p>細かい調査に感謝申し上げる。P16 にある「(男らしく、女らしくすべきだということを) それは誰に言われましたか」という質問について、第 3 位として先生が上がっている。やはり先生にも参加して欲しいと感じた。子どもたちの男女共同参画に対する認識・教育は、こどもたちの将来にも関わってくる。</p>
委員	<p>世界的にみると日本はジェンダーギャップの評価は低いが、その中では教育関連の指標は高い。アンケートでは生徒会長の選出は公平性が一番高いようだが、実際に本町の学校で生徒会長や副会長に女生徒がなることはあるのか。</p>
委員	<p>現在は、男子女子関係なく選挙が行われる。自分たちの時代は男子生徒ばかりで女子が立候補しなかった。今は男女共同参画がだいぶ浸透しており女子が立候補するようになった。</p>

【公開用】

委員	資料1に住民アンケートの実施とあるが、住民アンケートはまだ実施していないのか。
委託事業者	アンケートは終わっているが集計中である。
委員	中学生・高校生アンケートの調査結果について、P54「その悩みを相談できる相手や場所はありますか」に、高校生は「(誰も) いない」が100%となっているが間違いはないか。
委託事業者	100%という極端に高い値が出ているのは、回答者が限られているからである。この設問は、前の設問で心や体に関する悩みが「ある」と回答した人のみが対象となる設問である。高校生では対象者が3人しかおらず、全員が「いない」と回答している。元データも確認したが間違いはない。
委員	P19の食事の支度について、36.6%の生徒が「毎日する」と回答しているのも、ヤングケアラーとの関連はないのかと少し心配している。 また、最後のページの自由回答の中で、高校女子の回答で「学校の生徒会長が女性」とのみ書いてあるが、それだけしか書かれていなかったのか。
委託事業者	こちらでも不審に感じ、データを確認したが、このとおりのデータ、記述だった。勝手に解釈するわけにも行かず原文のまま掲載している。
委員	アンケートから、中学生・高校生の意識が上がっていることを感じる。日常生活を考えると、学校関係でいえば、昔○○君や○○ちゃんと呼んでいたのを、今は○○さんという呼び方をする。幼稚園児や保育園児にも、まず男女の前にみんな素晴らしい個性を持っているんだよと教え、意識向上に努めている。 県の研修に行った際、男女共同参画に関わった人たちの発表があった。その中で出水市ではすべての小中学校で男女共同参画の学習を進めているとあった。パンフレットや話を1回聞いただけではなかなか実行ができない。保育園・幼稚園、小学校、中学校、高校と教育・保育機関が連携し、男女共同参画教育の基盤を共有し、段階的に何度も学ぶ機会を作るのがいいと思う。口永良部の小学校では男女共同参画の学習に取り組まれておられる。連携し、やるべきことを整理していくべき取組は可能ではないかと思う。 難しい話だと感じると避けがちになるので、男女共同に関する事を楽しく学習できたらよいと思う。
委員	子どもたちの意識は生まれた時から男女共同参画の中で育っている。男女混合名簿や敬称などの取組も行われ、子どもたちはそういった男女共同・男女平等的な意思の中にいると思う。しかしアンコンシャス・バイアスは大人にもあると思う。 今の子どもたちやこれから小学校に入学する子どもたちはだいぶ確立されいくと思うが、大人たちの意識を変えていくことが必要だと思う。
委員	子どもたちの意識はだいぶ高まってきたるなど。私たちの世代も変えていかないといけない。 そして小瀬田小学校には学校単位で計画された男女共同参画の学習があった。
委員	人権教育など、それぞれ学校の教育課程の中で組み入れてやっている。

【公開用】

委員	そういうことを盛り込んでこの計画を作っていないといけない。高齢者の指導や教育も必要。話では分かっても心の奥底では残っていて、差別の問題とつながってくるのではないか。
委員	「注意しているもののふとした時につい出てしまう」ということにも気をつけていきたい。問題の本質的な部分だと感じる。
事務局	事業者が来ておられるので、事業者にお伺いしたい。県内の他の自治体でもアンケートをしていると思うが、アンケートの結果を受けて、屋久島町の子どもたちの特徴や認識はどう感じるか。
委託事業者	<p>手伝いをしている子どもが男女共に多い。女子だけではなく男子も積極的している。P51 の問 17 の回答結果が「家事などについて、性別によらず、身に着けることができるような育て方をすること」、「家族の間で互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分に話し合うこと」が 2 位・3 位に来ていることから、実際に手伝いをしているという行動面とあわせて家庭内で男女関係なく関わることが大事だという考え方方が身についていると思う。</p> <p>また、「男性も女性も生活面・経済面で自立できるようになること」や P33 問 14 で「④男女とも経済的自立ができるようになるのがよい」の結果からも、さらに経済的にも自立することが大事だと考えている。家庭での分担や経済的な自立への意識が身につき、考え方にも表れているのではないかと思う。そこが特徴的だと思う。</p>

(3) 今後のスケジュール

【第2回会議】

8月に実施した住民意識調査の結果報告、第1次計画の事業について、各課からの評価報告の2点について報告。これまでの調査結果と国県の動向を基に、第2次計画の骨子案を会議内で提出し、審議を諮る。

【第3回会議】

これまでの協議等を踏まえて、計画素案を作成し、同様に審議を諮る。

その後、12月にパブリックコメントを実施し、第4回会議で計画の最終案の提出という流れになる。

第2回会議 令和7年10月17日（金）午前10時（案） 場所同じ

※日程調整（翌週？）の可能性あり。

(4) その他

- ・資料に穴をあけておいてほしい。

- ・【事務局より】

交通費及び費用弁償については後日の清算払いとし、振込先口座の確認をお願いする。

- ・【委員】

私の意見として聞いてほしい。鹿児島は特に男尊女卑の風潮があった。子どもたちが変わっていくためには、大人にもサポートが必要。この男女共同参画計画を策定して、次により良いステップに進んでいけたらと思う。

7 閉会